

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府	市町村名	和泉市	地区名	JR和泉府中駅周辺地区	面積	14.8ha			
交付期間	平成20年度～平成24年度	事後評価実施時期	平成24年度	交付対象事業費	4,537百万円 国費率 0.42					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路:和泉府中駅西線・区画道路 地域生活基盤施設:公共駐車場 高次都市施設:自由通路 市街地再開発事業:和泉府中駅東第一地区(施設建築物)							
		提案事業	地域創造支援事業:図書館(和泉図書館)・共同施設整備(和泉府中駅東第一地区)							
	当初計画から削除した	基幹事業	市街地再開発事業:和泉府中駅東第一地区(不動産登記・和泉府中南通線)		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	-		-		-			
	新たに追加した事業	基幹事業	下水道:和泉府中駅西線		道路排水及び周辺流域の排水のため事業を追加		影響なし			
提案事業		地域創造支援事業:駅舎橋上化(JR和泉府中駅)・太陽光発電(自由通路)		地区目標を達成するために事業を追加		影響なし				
交付期間の変更	当初	平成20年度～平成24年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし					
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	評価値	目標達成度	目標達成の見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	図書館の貸出人数	人/年	77,144	H18 179,544	H24 154,015	H24 Δ	あり ○ H28年度 なし	駅前のフューチャー和泉(施設建築物)に移転し利便性が向上した事により貸出人数は大幅に増加した。目標値には至らなかったが、今後歩行者デッキが完成し駅からのアクセス性が向上すれば更なる増加が見込まれる。また平成23年度に来館者数を計測する機械を設置したのでフォローアップを行う際に「人の賑わい」を示す指標として「図書館の来館者数」を新たに評価項目として加える。	平成28年6月
	指標2	JR和泉府中駅の乗降客数	人/日	30,000	H18 31,400	H24 31,900	H24 ○	あり なし	乗降客数は増加し目標値をクリアした。要因としては市の総人口が増加傾向にあるとともに、住宅棟を含むフューチャー和泉の完成により、駅周辺人口が増加した事、またJRのダイヤの変更等も影響していると考えられる。今後マンション等の計画も予測され、更なる駅利用者の増加が見込まれる。	平成28年6月
	指標3	和泉府中駅周辺が利用しやすくなったと感じる割合	%	14.4	H18 35.0	H24 22.4	H24 Δ	あり ○ H27年度 なし	「和泉府中駅周辺が利用しやすいと感じますか?」のアンケートに対し、「非常にそう感じる」「どちらかといえばそう感じる」割合の数値は目標値には達していないが上昇している。要因としてはフューチャー和泉の完成や区画道路等、駅周辺地区の整備が一定図られ、利便性が向上した事等が考えられる。なお今後事業の完成に伴って数値の増加は期待できる。	平成28年6月
	指標4	不燃領域率	%	38.8	H19 41.9	H24 50.6	H24 ○	あり なし	木造密集市街地を整備したことにより防災面の改善が図られた。本地区は大阪府の指定する「災害に強い住まいとまちづくり促進区域」に該当し、府の基本方針では平成37年まで促進区域内総平均で不燃領域率を50%以上にするという目標を掲げているため、引き続きフォローアップを行う。	平成28年6月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	評価値	目標達成度	目標達成の見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
その他の数値指標1	図書館のイベント参加人数	人/年	878	H21	1,148	H24		図書館の利便性が向上した事に加え、イベントの開催回数を例年より増やす等、ソフト面での取り組みを強化したことによりイベントの参加人数が増加した。	平成28年6月	
4) 定性的な効果発現状況	フューチャー和泉の完成や区画道路等一定の整備が図られたことにより、駅周辺に人が集まりつつある。しかし本地区は1期の事業途中で2期事業も控えているなかで、エリア全体をみて限られた場所しか完了していない。その為現状においては、駅前広場や自由通路、また駅の西側の道路整備が完了していない状況で、歩行者の快適性や、人の回遊性が十分ではない。									
5) 実施過程の評価	モニタリング	実施内容			実施状況			今後の対応方針等		
	住民参加のプロセス 持続的なまちづくり体制の構築	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			指標1～4やその他の数値指標、また追加で設定する項目につき継続的に数値を把握し、事業の効果を確認する。 ○ 継続して防災訓練を行っていく。 ○ 再開発ニュースを発行している市街地再開発準備組合は解散したため、再開発ニュースは発行できないが、市の広報やホームページにて継続してまちづくり情報を発信していく。 ○ 継続して「和泉府中地区商店街・地域活性化まちづくり協議会」の活動を支援していく。		

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府	市町村名	和泉市	地区名	JR和泉府中駅周辺地区	面積	14.8ha			
交付期間	平成20年度～平成24年度	事後評価実施時期	平成24年度	交付対象事業費	4,537百万円 国費率 0.42					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路:和泉府中駅西線・区画道路 地域生活基盤施設:公共駐車場 高次都市施設:自由通路 市街地再開発事業:和泉府中駅東第一地区(施設建築物)							
		提案事業	地域創造支援事業:図書館(和泉図書館)・共同施設整備(和泉府中駅東第一地区)							
	当初計画から削除した	基幹事業	市街地再開発事業:和泉府中駅東第一地区(不動産登記・和泉府中南通線)		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	-		-		-			
	新たに追加した事業	基幹事業	下水道:和泉府中駅西線		道路排水及び周辺流域の排水のため事業を追加		影響なし			
提案事業		地域創造支援事業:駅舎橋上化(JR和泉府中駅)・太陽光発電(自由通路)		地区目標を達成するために事業を追加		影響なし				
交付期間の変更	当初	平成20年度～平成24年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし					
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	図書館の貸出人数	人/年	77,144	H18 179,544	H24 154,015	H24 Δ	あり ○	駅前に移転し、利便性が向上したことにより貸出人数が大幅に増加したが目標値にはいかなかった。今後歩行者デッキが駅から図書館まで延伸されアクセス性がさらに向上すれば、貸出人数も増加すると見込まれる。	平成28年6月
	指標2	JR和泉府中駅の乗降客数	人/日	30,000	H18 31,400	H24 31,900	H24 ○	あり なし	駅前に商業公益棟、住宅棟、駐車場が完成し、駅を利用する人が増加した。駅周辺の利便性が向上し、今後マンション等の計画も予測され、更なる駅利用者の増加が見込まれる。	平成28年6月
	指標3	和泉府中駅周辺が利用しやすくなったと感じる割合	%	14.4	H18 35.0	H24 22.4	H24 Δ	あり ○	従前値に比べ数値が上がっているものの目標値にはいかなかった。今後駅周辺の整備や駅のバリアフリー化が図られると、利用しやすくなったと感じる割合も上昇すると見込まれる。	平成28年6月
	指標4	不燃領域率	%	38.8	H19 41.9	H24 49.8	H24 ○	あり なし	災害の危険性が高い木造密集市街地を整備をしたことにより、不燃領域率の数値が上がり、防災面の改善が図られた。	平成28年6月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
その他の数値指標1	図書館のイベント参加人数	人/年	878	H21	1,148			図書館の利便性が向上した事に加え、イベントの開催回数を例年より増やす等、ソフト面での取り組みを強化したことによりイベントの参加人数が増加した。	平成28年6月	
4) 定性的な効果発現状況	フューチャー和泉の完成や区画道路等一定の整備が図られたことにより、駅周辺に人が集まりつつある。しかし本地区は1期の事業途中で2期事業も控えているなかで、エリア全体をみて限られた場所しか完了していない。その為現状においては、駅前広場や自由通路、また駅の西側の道路整備が完了していない状況で、歩行者の快適性や、人の回遊性が十分ではない。									
5) 実施過程の評価	モニタリング	実施内容			実施状況			今後の対応方針等		
	住民参加のプロセス 持続的なまちづくり体制の構築	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			今後継続して活動していく。		

JR和泉府中駅周辺地区(大阪府和泉市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値		
大目標 災害に強く安全で快適な和泉市の玄関としてふさわしい地区へと再構築を図る 目標1 都市機能の更新を図り、災害に強い住まいとまちづくりを進める。 目標2 商業・業務活動に新たな活力をもたらす、地域の文化、交流を促進するまちづくりを進める。	図書館の貸出人数	単位:人/年	77,144	H 18	179,544	H 24	154,015	H 24	
	JR和泉府中駅の乗降客数	単位:人/日	30,000	H 18	31,400	H 24	31,900	H 24	
	和泉府中駅周辺が利用しやすくなったと感じる市民の割合	単位:%	14.4	H 18	35.0	H 24	22.4	H 24	
	不燃領域率	単位:%	38.8	H 19	41.9	H 24	50.6	H 24	

  

市街地再開発事業  
フチャール和泉

住宅棟 駐車場棟 商業公益棟

基幹事業  
区画道路

整備前

整備後

  

<p>【まちの課題の変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 老朽化した建物が密集し、防災面で非常に危険な状態にあったが、災害危険性の高い木造密集市街地を整備したことにより、防災面の改善が図られた。</li> <li>○ 駅前広場や周辺の道路幅員が狭小な中、駅前、踏切前において自動車、自転車、歩行者が混在していたが区画道路の整備等で、以前に比べると快適性が向上した。ただ駅前広場や自由通路等の整備が事業の途中なので、完全には解消出来ていない状態である。</li> <li>○ 商業・業務機能の低下が目立ち、本市の都市核にふさわしい活力あるまちづくりが課題であったがフチャール和泉を核とし、駅周辺に人が集まる基盤が出来上がりがつつある。</li> <li>○ フチャール和泉前の歩道に不法に駐輪する自転車の問題が新たに課題としてでてきた。</li> </ul>	<p>【今後のまちづくりの方策(改善策含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元自治会や消防団、公共施設の管理者等と連携し、防災訓練を継続して行い、地域住民の防災意識向上に努める。</li> <li>○ 駅前広場や自由通路等の歩行者ネットワークの整備と2期事業で行う駅の西側の道路整備等で、自動車、自転車、歩行者が混在している状態を解消し、交通安全性や歩行者の快適性の更なる向上を図る。</li> <li>○ 駅周辺に人が集まるための基盤整備が着実に進展しているため、人の回遊性の向上を図り、新設された「和泉府中地区商店街・地域活性化まちづくり協議会」の活動を通じ、既存商店街と連携し、活力あるまちづくりを目指す。</li> <li>○ 自転車等を放置させない為の方策を官民協働で協議、検討し可能な対策を講じる。</li> </ul>
--	--

JR和泉府中駅周辺地区(大阪府和泉市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値		
大目標 災害に強く安全で快適な和泉市の玄関としてふさわしい地区へと再構築を図る 目標1 都市機能の更新を図り、災害に強い住まいとまちづくりを進める。 目標2 商業・業務活動に新たな活力をもたらす、地域の文化、交流を促進するまちづくりを進める。	図書館の貸出人数	単位:人/年	77,144	H 18	179,544	H 24	154,015	H 24	
	JR和泉府中駅の乗降客数	単位:人/日	30,000	H 18	31,400	H 24	31,900	H 24	
	和泉府中駅周辺が利用しやすくなったと感じる市民の割合	単位:%	14.4	H 18	35.0	H 24	22.4	H 24	
	不燃領域率	単位:%	38.8	H 19	41.9	H 24	49.8	H 24	

  

市街地再開発事業  
フチャール和泉

住宅棟 駐車場棟 商業公益棟

基幹事業  
区画道路

整備前

整備後

  

<p>まちの課題の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害の危険性が高い木造密集市街地を整備したことにより、防災面の改善が図られた。</li> <li>・区画道路や公共駐車場等の都市基盤整備が一定完了し、駅周辺地区は以前に比べると利便性や快適性が向上した。</li> <li>・商業公益棟や住宅棟、駐車場棟が出来たことにより、駅周辺を利用する人が増加したが、まち全体の回遊性が十分ではなく活性化にはいたっていない。</li> </ul>	<p>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場や自由通路等の公共施設整備を早期に完了させ、駅利用者の安全性や快適性の向上に努める。</li> <li>・防災訓練等の実施や防災意識の啓発を行うことにより、地域住民の防災意識向上に努める。</li> <li>・新設された「和泉府中地区商店街・地域活性化まちづくり協議会」の活動を通じ既存商店街と連携し、回遊性の向上を図り、和泉府中駅周辺地区一体となったにぎわいの創出に努める。</li> </ul>
---	--